

部局名	教育委員会	所属名	教育総務課	所属長名	鹿野 泰司	電話	481-0300
-----	-------	-----	-------	------	-------	----	----------

1. 事務事業の位置付け・概要 (PLAN)

コード	3411	事務事業名称	中学校教育振興事業				短縮コード	経常	3411	臨時	3824	
予算区分	会計	01	一般会計	款	10	教育費	項	03	中学校費	目	02	教育振興費
区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> その他		根拠法令等	教育基本法及び学校教育法 八千代市補助金等交付規則, 八千代市立小中学校各種大会派遣事業補助金交付要綱								
事業概要 (事務事業を開始したきっかけを含めて記入)												
法律制定時から開始 中学校11校の教育に必要な各種教材等の整備を行い, 教育の振興を図っている。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱(章)	02	第2章教育文化都市をめざして					
新学習指導要領の実施に伴い, 教材備品の充実が求められている。					大項目(節)	01	第1節教育					
					中項目	02	2. 義務教育					
					小項目	01	(1)教育環境の整備					
					細項目	02	②施設・設備の整備					
					実施計画の計画事業							
計画事業の位置付けの有無			<input type="checkbox"/>	計画事業期間	~		計画事業費	千円				

2. 事務事業の目的・指標・実績 (DO)

対象 (誰を何を対象にしているのか)	八千代市立中学校の生徒の教材・図書 八千代市立中学校のクラブ活動								
手段 (具体的な事務事業のやり方、手順、詳細)	※平成23年度に実際に行ったこと: ①教材・図書の予算の積算及び予算の執行に係わる事務②学校配当の積算, 予算書の作成及び支出負担行為の検収並びに支出票起票③教材等の一括購入業務④クラブ活動補助金に係わる事務 ※平成24年度に計画していること: 23年度と同様								
意図 (何を狙っているのか)	教材・図書のより良い選定と予算の効率的な執行 大会等に出場する生徒に旅費等の補助								
ねらい(上位施策の意図)	入力対象外								
区分	指標	内容	単位	22年度		23年度		24年度	
				実績	計画	実績	計画		
対象指標	指標1	教材備品の配置を要する件数	件	61	198	264	388		
	指標2	図書標準冊数	冊	119,920	121,760	121,760	121,760		
	指標3	大会に参加するクラブ活動件数	件	8	0	8	0		
活動指標	指標1	教材備品の配置件数	件	61	198	264	388		
	指標2	図書購入冊数	冊	10,647	8,062	6,821	6,821		
	指標3	大会へ参加したクラブ活動への補助金交付件数	件	8	0	8	0		
成果指標	指標1	教材備品の充足率	%	100	100	100	100		
	指標2	現有蔵書数/図書標準冊数	%	101.3	99.8				
	指標3	補助金の交付金額/大会出場に要する旅費等の金額	%	100	0	100	0		
上位成果指標	指標1								
	指標2								
	指標3								

コード	3411	事務事業名称	中学校教育振興事業		所属名	教育総務課				
	単位	22年度		23年度		24年度				
		実績		計画		実績				
事業費(A)	財源内訳	国	千円	5,500						
		県	千円							
		地方債	千円							
		一般財源	千円	24,652		32,105		34,822		
	その他	千円								
	主な事業費の内訳		中学校11校の教材・図書備品費。クラブ活動補助金。報償費201千円消耗品費11,404千円備品購入費18,455千円	中学校11校の教材・図書備品費。クラブ活動補助金。報償費212千円消耗品費12,665千円備品購入費19,228千円	中学校11校の教材・図書備品費。クラブ活動補助金。報償費212千円消耗品費12,486千円備品購入費20,554千円	中学校11校の教材・図書備品費。クラブ活動補助金。報償費214千円消耗品費12,694千円備品購入費27,334千円				
人件費(B)		千円	8,172.8		7,974.3		8,603.8		8,394	
トータルコスト(A)+(B)		千円	38,324.8		40,079.3		43,425.8		48,636	

3. 事務事業の評価(S E E)

評価類型	評価事項	評価区分	理由			
目的妥当性	①事業目的が上位の施策に結びついているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 結び付いている <input type="checkbox"/> 結び付くが見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 結びつきが弱い・ない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	上位の政策を推進するため、中学校教育振興事業を実施しており、結びついている。			
	②すでに所期目的を達成しているか？ ※「達成している」を選んだ場合、⑥に進んでください。	<input type="checkbox"/> 達成している <input checked="" type="checkbox"/> 達成していない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	学校が存続する限り、教材整備等は不可欠であり、今後も継続していかなければならない。			
	③民営化で目的を達成できるか？ ※民営化・・・事務事業の全部又は一部の実施主体を全面的に民間事業者等に移行すること。 (民間委託は、権限に属する事務事業等を委託することで、民営化とは異なる。)	<input type="checkbox"/> 可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性はない <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	教育基本法及び学校教育法, 八千代市補助金等交付規則に則ったものであるため			
	④「対象」・「意図」の設定は現状のままで良いか？	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のままでよい <input type="checkbox"/> 見直す必要がある <input type="checkbox"/> 評価対象外事項	所期目的に変更はなく、現状の対象・意図の設定で結果に結びつく。			
有効性・効率性	⑤今後、有効性や効率性を向上させる可能性はあるか？ 可能性がある場合は、⑤-2, 3を記入する。 可能性がない場合は、理由を記入する。	<input type="checkbox"/> 有効性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 効率性向上の可能性はある <input type="checkbox"/> 両方可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 可能性がない	予算の積算や学校への配当事務, 検収, 補助金の審査等, 最善を尽くしている。			
	⑤-2 有効性や効率性を向上させる手段は何か？ 該当する手段を選択し、具体的な方法と得られる効果を記入する。手段が「類似事業との統合・役割見直し」である場合は、該当する類似事業を記入する。	<input type="checkbox"/> 民間委託等	類似 事務 事業 名称	1		実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> 再任用職員及び臨時的任用職員等の活用				実施主体 (所管部署)
		<input type="checkbox"/> IT化等の業務プロセスの見直し				
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し				
	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合・役割見直し		2			
	<input type="checkbox"/> 上記以外の方法					
⑤-3 推進にあたっての課題はあるか？(一時的な経費増・市民の理解等)	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない					

コード	3411	事務事業名称	中学校教育振興事業			所属名	教育総務課																						
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。		<input type="checkbox"/> 改革・改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他			教育基本法及び学校教育法，八千代市補助金等交付規則に則ったものであり，上位の施策を達成するためには継続する必要がある。																							
			<input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続																										
		⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">経費</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>不変</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>不変</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </tbody> </table>					経費			削減	不変	増加	成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	不変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	教材備品の更新は，学校教育内容の充実には不可欠であり現状のまま継続していく。	
		経費																											
		削減	不変	増加																									
成果	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	不変	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																									

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
地方交付税のうち、図書算入分に対して需要相当額を図書購入費に充当すべきではないかという意見が議会よりあった。	

所属長コメント	学校教育内容の充実に直接係る事業であり，更なる充実が必要である。	
評価調整委員会評価	<input type="checkbox"/> 改革改善して継続 <input type="checkbox"/> 手法プロセスの改革・改善 <input type="checkbox"/> 事業規模の拡大・縮小 <input type="checkbox"/> 統合・役割見直し <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 事業完了 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続	担当課の評価のとおり，現状のまま継続とする。